

令和7年3月

三種町 議会定例会

令和7年3月三種町議会定例会
が、3月3日から14日までの会期
で開催され、議案等が審議されま
した。
施政方針と行政報告の要旨と審
議された主な議案等についてお伝
えます。

施政方針

人口減少や少子高齢化に伴う生
産人口減少の更なる進展が見込ま
れる中、これまで以上に安心・安
全なまち、暮らしやすいまちを实
現し、町の魅力を一層高め、持続
可能なまちにしていけることが求め
られています。いまだ不安定な海
外情勢や物価の高騰、頻発する自
然災害などに大きな影響を受け続
けている住民生活や地域経済の安
定のため必要な施策を展開しつづ
け、町にとって有益かつ必要な事業を
計画どおり進めること、そして視
点を変え、新たな可能性を見出し、
時とともに変化する情勢を見極め
ながら町政を進めてきました。

国のカーボンニュートラル推進
により、再生可能エネルギーの活
用をはじめ循環型社会への取り組
みが加速しています。豊かな自然
を有し、エネルギー、環境施策の
フロントランナーとなるこの地域
は、新しい産業が定着する可能性
を大いに秘めており、三種町も
2050カーボンニュートラル宣
言に基づき脱炭素社会実現に向け
た取り組みを進めていきます。

また、デジタルトランスフォー
メーション（以下、「DX」）の推
進は、産業分野だけではなく行政
と町民をつなぎ、住民が暮らしや
すい社会を創造するうえで強力に
進めていかなければいけません。
町民のみならずと手を携え、しつ
かりとフォローしながら将来のま
ちづくりを見据えて取り組んでい
きます。さらには、人口減少を抑
制すべく、子育て・若者世代の定
着と子育て施策の充実に、粘り強
く取り組んでいきます。

さて、本町の財政状況について
みますと、財政健全化の取り組み
により、現時点では健全な財政状
況にあります。しかし、昨年から
続いている米の不足感による米価
の上昇は、米生産者の収入の増加
となったものの、物価高騰やたび
重なる自然災害は住民生活や地域
経済に大きな影響を与えており、
さらには大型事業の推進により、
今後の財政運営への影響が懸念さ
れます。

このような状況下において、国
の様ざまな施策を注視し、三種町

の諸情勢を念頭に置きながら、合
併20年目となる翌年度が計画最終
年の「三種町みらい創造プラン」
にある町の将来像「人・地域がつ
ながり、元気を未来へつなぐ町」
を実現していくため、令和7年度
は次の施策を実施します。

若者の定住促進と 賑わいのあるまち

若者の定住とふるさと回帰を推
進するため、若者活動支援、結婚
支援と祝金、住宅取得支援、定住
移住支援、ふるさと便等の事業を
継続して実施するとともに、町内
の空き家利用を促進するため、新
たに空き家バンク登録者成約報奨
金を創設します。

観光資源の充実と交流人口の拡
大においては、地域資源を活かし
たイベントを開催するほか、三種
町観光協会などと連携し、交流人
口の拡大を図っていきます。

森岳温泉街活性化においては、
森岳温泉活性化協力会と連携し、
温泉街のにぎわい創出と観光コン
テンツとしての誘客を図り、温泉
街の活性化に取り組んでいきます。

関係人口の拡大とにぎわいの創
出においては、みたね会議や関係
人口創出事業、スポーツ文化宿
等誘致推進事業により関係人口の
拡大を図るとともに、町の情報発
信と地域活性化のため、新たに地
域おこし協力隊の募集も行ってい
きます。

地元で安心して働ける 雇用を創るまち

農林水産業の基盤安定と所得向
上においては、高齢化による担い
手不足などの課題解決に向けた次
世代型農業の普及促進を図るた
め、ICTを活用したスマート農
業技術の普及促進に取り組んでい
きます。また、農業の基盤整備に
おいては、作業の効率化と生産性
の向上を図るため、圃場整備事業、
ため池等整備事業などにより面的
整備を進めるとともに、施設の維
持管理と長寿命化、環境保全活動
に対しては、農地保全活動団体単
位での取り組み強化と負担軽減を
図るため、地域でまもる高性能機
械導入支援事業を継続していきま
す。

生産経営体制の強化・育成にお
いては、令和7年産米の生産目安
により、需要に応じた米づくりを
推進するとともに、経営所得安定
対策推進事業により町の振興作物
への支援を継続していきます。ま
た、近年の異常気象に対応するた
め、経営努力だけでは避けられな
い収入減少への対策として、農作
物への保証制度となる収入保険制
度と水稲・大豆共済制度への加入
支援も継続して取り組んでいきま
す。

森林資源の管理においては、令
和6年度から実施している航空
レーザー測量のデータ解析を進
め、境界の明確化と森林資源情報